

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 13 日現在

機関番号：13701

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2011～2013

課題番号：23390129

研究課題名(和文) 医学・医療教育指導者の育成システム構築に関する研究

研究課題名(英文) Research on the establishment of certified expert program in medical education

研究代表者

鈴木 康之 (SUZUKI, Yasuyuki)

岐阜大学・医学部・教授

研究者番号：90154559

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,000,000円、(間接経費) 4,200,000円

研究成果の概要(和文)：1)日本医学教育学会の事業「日本医学教育学会認定医学教育専門家資格制度」の中核メンバーとして、その原案作成とパイロット事業を展開し、アウトカム設定、申請資格、履修登録者事前説明会、コースワーク(Teaching & Learning、Assessment、Curriculum Development)、教育実践・振り返りレポート、学術活動の成果、教育履歴、キャリアヒストリー、認定審査などの要件を検討し、制度の概要を構築した。
2)医学教育学分野の大学院博士課程構築、専門医レベルの指導医講習会の構築、指導医のアウトカムに関する研究などを実施した。

研究成果の概要(英文)：Certified expert program in medical education was established in collaboration with Japan Society for Medical Education. Outcome setting, eligibility, course work, reflective report on educational practice, career history were introduced into this program. PhD course for medical education, faculty development program for specialty doctor training, and outcome of clinical teachers were investigated

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：境界医学・医療社会学

キーワード：医学教育 医療者教育 教育指導者 専門家育成 小児科専門医

1. 研究開始当初の背景

医学・医療者教育の考え方は近年大きく変革しつつあり、成人学習理論、学習者中心教育、問題基盤型学習、学習者の省察、形成的評価、フィードバック、臨床現場における多角的な能力評価などが重視され、教育プログラムの終了段階までに獲得すべき能力（アウトカム）を重視した教育の重要性が認識されつつある。多忙な臨床・研究業務の中で、教育指導者の育成は二の次とされてきた面が否めず、教育指導者に求められる能力の明確化、育成システムの構築は立ち後れていた。

2. 研究の目的

医学・医療教育指導者の育成システムを構築するために、以下の研究を行った。

- (1) 様々な階層の医学・医療教育指導者に求められる資質・能力（アウトカム）を明らかにする。
- (2) 上記の能力を向上させるための教育・研修法を構築する。
- (3) 様々な階層の教育指導者に応じた教育システムを提案し、国内への普及を図る。

3. 研究の方法

- (1) 日本医学教育学会と協力して、「日本医学教育学会認定医学教育専門家資格制度」の原案作成とパイロット事業を展開する。
- (2) 医学教育学の大学院の研究指導内容のあり方を検討する。
- (3) 日本小児科学会と協力して専門研修レベルの指導医講習会を構築して効果を検証する。
- (4) 専門医研修の指導医像について明らかにする。

4. 研究成果

- (1) 日本医学教育学会認定医学教育専門家資格制度の原案作成とパイロット事業の展開
 - ① アウトカム設定：分担研究者間の意見交換を重ね、「認定された医学教育の専門家は、施設内の教育に関して相談があった時に、教育学の根拠と自施設の文脈を融合させて、施設の人材と協同的に、その教育の展開をサポート/リードできる能力を有すること」とした。
 - ② 申請資格：一定以上の医学教育の実務経験、講習会受講歴、学会活動、教育業績などを設定した。また、医学教育その他の医療系職種の前・卒後教育に携わっており、コースワーク、教育実践・ふりかえりレポートなどを記載できる者を参加要件とした。
 - ③ 履修登録者事前説明会（ブートキャンプ）：認定専門家資格制度全体の概要、コースワークの受講方法、コースワークレポー

ト・認定申請用ポートフォリオの書き方等の説明を行うために実施する。平成25年12月14日にパイロット説明会を開催した。

④ コースワーク：Teaching & Learning (T&L)、Assessment (A)、Curriculum Development (CD)の3コースを受講し、期限内にコースワークレポートの提出を行い、評価を受けることとした。

⑤ 教育実践・振り返りレポート：コースワークで学んだ視点をもとに教育実践を行い、各領域の教育実践・振り返りレポート3編を提出し、評価を受けることとした。ルーブリックに基づいた評価を行うために、ルーブリックの作成、評価者講習会を実施した。また、本研究班員が教育実践・振り返りレポートをパイロット的に執筆し、相互評価を行った。

⑥ 学術活動：学会発表、学術論文、著書・翻訳書、研究報告書

⑦ 教育履歴：教育経験に関する業績リスト

⑧ キャリアヒストリー：医師・専門家として「医学教育者としてのキャリア」を3~6程度の時期に区分し、医学教育の理論や研究、学問的活動にどのように関わって学び成長し実践してきたか記述することとした。

⑨ 認定審査：認定審査用ポートフォリオを提出し、ルーブリックに基づいた審査を行う。また認定審査会で面接を行い、実践についての評価を行う。審査会の結果に基づき理事会が承認後、認定証が授与されることとした。

(2) 医学教育学の大学院

医学教育の専門家を育成するためには、学識と実践能力だけでなく、研究能力も必要である。研究能力は必ずしも論文化までを求めものではなく、教育上の問題点について適切な手法で分析し、改善策を探る能力が重要であるが、これはリサーチの基本と変わらない。従って、研究を推進できることは教育の改善にとって重要であると言える。分担研究者らはそれぞれの大学院博士課程において研究者の育成方法の検討を行った。

(3) 専門研修を想定した指導医講習会構築

初期臨床研修を対象とした指導医講習会は全国的に普及し、指導医に認定された者は約5万名に達するとされているが、専門医育成を目的とした指導医のあり方については、ほとんど検討されていない。本研究では日本小児科学会と協力して専門研修を想定し、実践力と理論修得のバランスに配慮し、専門医研修に適した指導医講習会を構築した。

① フィードバック：小児科特有のシナリオに基づき、デモンストレーションと参加者のロールプレイを多用して実践力修得を図った。

② 臨床評価：mini-CEX, DOPS, SEAなどの

work-based assessment を小児科特有のシナリオに基づいてトレーニングした。

③アウトカム基盤型教育：小児科の研修目標作成に小児科学会が設定した教育アウトカムを導入した。

④小児科分野の教育指導者を継続的に育成するために、受講者から希望者を募り、講習会世話人を経験しながら教育指導者として成長する機会を提供し、新たに 10 名以上の人材育成を行った。

(4) 専門医研修の指導医像

医学教育専門家の育成と並んで重要なのは、様々なレベル・分野の指導医の育成である。専門医制度が大きく変革しようとしている現在、専門医研修の指導医はどうあるべきかの研究が必要である。前項で日本小児科学会の取組成果を報告したが、それと並行して、小児科指導医のあり方を研究した。小児科指導医講習会受講者と教育専門家の意見集約とアンケート分析により、日本人小児科指導医が重視する指導医としてのアウトカムを明らかにした。これらは個人的資質、専門医としての能力、教育的態度・スキルの 3 大カテゴリーに大別された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 15 件)

- ① Nishigori H, Harrison R, Busari J, Dornan T. Bushido and Medical Professionalism in Japan. 査読有、Academic Medicine. 2014 (in press)
- ② Imafuku R, Kataoka R, Mayahara M, Suzuki H, Saiki T. Students' Experience in Interdisciplinary Problem-based Learning: A Discourse Analysis of Group Interaction. International Journal of Problem Based Learning、査読有、2014 (in press)
- ③ 田川まさみ、西城卓也、錦織宏。カリキュラムの開発。医学教育、査読有、2014; 45: 25-35
- ④ 西城卓也、丹羽雅之、川上ちひろ、今福輪太郎、阪下和美、藤崎和彦、鈴木康之。医療者教育における教育者養成のこれまでとこれから：医学教育セミナーとワークショップの歴史が示す将来。医学教育、査読有、2014; 45: 13-24
- ⑤ 鈴木康之。医学・歯学教育者の人材育成。日本歯科医学教育学会雑誌、査読有、2013; 29: 7-10

- ⑥ 吉岡俊正、福島統、椎橋実智男。医学教育の国際認証」について聞く。医学教育、査読有、2013; 44:1-12
- ⑦ 藤崎和彦、田川まさみ、西城卓也、井内康輝、錦織宏、渡邊洋子、大谷尚、守屋利佳、吉岡俊正、吉田素文、鈴木康之。委員会報告 日本医学教育学会認定医学教育専門家資格制度創設への提言、医学教育、査読有、2012; 43: 221-231.
- ⑧ 西城卓也、田川まさみ。医学教育に携わる人が備えるべき教育能力。医学教育、査読有、2013; 44: 90-8
- ⑨ 西城卓也、菊川誠。魅力的な学習と効果的な教授方法①。医学教育、査読有、2013; 44: 133-42
- ⑩ 菊川誠、西城卓也。魅力的な学習と効果的な教授方法②。医学教育、査読有、2013; 44: 243-52
- ⑪ 田川まさみ、西城卓也。医学教育における学習者の評価①。医学教育、査読有、2013; 44: 345-7
- ⑫ 錦織宏、西城卓也。医学教育における学習者の評価②。医学教育、査読有、2013; 44: 429-38
- ⑬ 鈴木康之。成人学習。日本小児科学会雑誌、査読有、2012; 116:133-5
- ⑭ 鈴木康之、関口進一郎。カリキュラムの基本。日本小児科学会雑誌、査読有、2012; 116: 813-5
- ⑮ 西屋克己、鈴木康之。学習者評価の基本。日本小児科学会雑誌、査読有、2012; 116: 1197-8

[学会発表] (計 8 件)

- ① Yoshioka T. External Evaluation of Tokyo Women's Medical University. 2013 AMEWPR Annual Meeting & KIMEE Medical Education International Seminar Program. December 9, 2013, Seoul
- ② Yoshioka T. Recent Advance in Medical Education in Japan. The 8th Asia Pacific IAP Congress. September 6, 2013, Busan
- ③ Tagawa M. Continuum of medical education: Analysis of Japanese experiences and outcome-based challenges. The 28th Korean Medical Education Congress, Invited Lecture, 2013, Buyeo, South Korea
- ④ 鈴木康之。医学・歯学教育者の人材育成。第 32 回日本歯科医学教育学会。2013 札幌
- ⑤ 鈴木康之。コンピテンシーを基盤とする専

門医認定をめざして:日本小児科学会の取り組み. 第45回日本医学教育学会、2013 千葉

- ⑥ 鈴木康之. 医療者教育の人材育成戦略—日本の覚悟と挑戦: MEDC 12年の経験から. 第2回全国シンポジウム「日本の国情・2次医療研の実情を熟考して、理想的医師・医療者育成教育の展開を考える」、2013 秋田
- ⑦ 田川まさみ. 産婦人科指導医のための実践的教育学. 第126回関東連合産科婦人科学会学術集会, 2013 浜松
- ⑧ 吉岡俊正. 医療国際化時代の医学教育質保証. 第28回日本医学会総会特別企画、2011 東京

〔図書〕(計1件)

- ① 鈴木康之、藤崎和彦、丹羽雅之(監修). 日本の医学教育の挑戦. 篠原出版新社 2012, pp 241

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

○取得状況(計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等 なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

鈴木 康之 (SUZUKI Yasuyuki)
岐阜大学・医学部・教授
研究者番号: 90154559

(2) 研究分担者

藤崎 和彦 (FUJISAKI Kazuhiko)

岐阜大学・医学部・教授

研究者番号: 60221545

丹羽 雅之 (NIWA Masayuki)

岐阜大学・医学部・教授

研究者番号: 40156146

若林 英樹 (WAKABAYASHI Hideki)

岐阜大学・医学部・非常勤講師

研究者番号: 00378217

吉岡 俊正 (YOSHIOKA Toshimasa)

東京女子医科大学・医学部・教授

研究者番号: 60146438

大谷 尚 (OOTANI Takashi)

名古屋大学・教育発達科学研究科・教授

研究者番号: 50128162

田川 まさみ (TAGAWA Masami)

鹿児島大学・歯学総合研究科・教授

研究者番号: 90261916

錦織 宏 (NISHIGORI Hiroshi)

京都大学・医学研究科・准教授

研究者番号: 10463837

西城 拓也 (SAIKI Takuya)

岐阜大学・医学部・准教授

研究者番号: 90508897

守屋 利佳 (MORIYA Rika)

北里大学・医学部・准教授

研究者番号: 80220094

渡邊 洋子 (WATANABE Yoko)

京都大学・教育学研究科・准教授

研究者番号: 70222411

井内 康輝 (INAI Kouki)

広島大学・歯薬保健学研究院・名誉教授

研究者番号: 20116536

吉田 素文 (YOSHIDA Motofumi)

九州大学・医学研究院・教授

研究者番号: 00291518